

広域的地域活性化基盤整備計画【事後評価】

みやぎ高度電子機械産業、みやぎ自動車関連産業集積地域

宮城県

■みやぎ高度電子機械産業の集積を図ろうとする地域

関係市町村(仙台市、白石市、名取市、多賀城市、栗原市、大崎市、村田町、柴田町、大和町、
大郷町、富谷町、大衡村、加美町、涌谷町、美里町)

■みやぎ自動車関連産業の集積を図ろうとする地域

関係市町村(仙台市、石巻市、角田市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、村田町、丸森町、亶
理町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村)

平成26年6月

目次

○ 広域的地域活性化基盤整備計画の目標および計画期間及び事後評価	1
○ 拠点施設	2
○ 広域的地域活性化基盤整備計画の整備方針と基本的な方針等との整合性	3
○ 交付対象事業等一覧	4
○ 拠点施設・重点地区	5
○ 整備方針概要図	6

広域的地域活性化基盤整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	宮城県	計画の名称	みやぎ高度電子機械産業、みやぎ自動車関連産業集積活性化基盤整備計画
計画期間	平成 19年度 ~ 平成 23年度	交付期間	平成 19年度 ~ 平成 23年度

広域的特定活動

本県において地域による主体的かつ計画的な企業立地促進等の取り組みを支援し、地域の特性を活かした産業集積の形成を図り、もって、地域経済の自立的発展の基盤強化を図る。

■高度電子機械産業

- ・計画の目的 : ○単なる電子部品・電子機械にとどまらない最先端の研究によって生みだされた高度な技術を内包する電子部品・電気機械関連産業＝「高度電子機械産業」の集積を図る。
○導入(企業誘致)と内発(地域企業の事業及び技術の高度化による育成、新たな産業の創出)の取組を一体的かつ総合的に推進する。
- ・集積区域 : 仙台市、白石市、名取市、多賀城市、栗原市、大崎市、村田町、柴田町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村、加美町、涌谷町、美里町
- ・集積業種(5業種) : 一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、電子部品・デバイス製造業、精密機械器具製造業
- ・計画期間: 平成19年～23年度(5年)
- ・成果目標(目標年度:平成23年度): 製造品出荷額の増額1,300億円(伸び率 約16%)

■自動車関連産業

- ・計画の目的 : ○県内及び隣接県に有力な自動車関連企業の部品工場や車両組立工場、関連する部品供給メーカー等が存在しており、強みを生かした、産業集積を図る。
- ・集積区域 : 仙台市、石巻市、角田市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、村田町、丸森町、亶理町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村
- ・集積業種(9種類) : 衣服その他の繊維製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、電子部品・デバイス製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業
- ・計画期間 : 平成19年～23年度(5年)
- ・成果目標(目標年度:平成23年度) : 製造品出荷額の増額 1,300億円(伸び率 約16%)

※計画の目的、集積区域、集積業種、計画期間、成果目標は基本的に「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」に基づき作成した「みやぎ高度電子機械産業集積形成基本計画」及び「みやぎ自動車関連産業集積形成基本計画」と同様。

目標

<みやぎ高度電子機械産業>

■単なる電子部品・電子機械にとどまらない最先端の研究によって生みだされた高度な技術を内包する電子部品・電気機械関連産業＝「高度電子機械産業」の振興を目指す。

■導入(企業誘致)と内発(地域企業の事業及び技術の高度化による育成、新たな産業の創出)の取組を一体的かつ総合的に推進する。

<みやぎ自動車関連産業>

■県北部、県中央、県南部の各圏域においてクラスター的に集積を進め、各圏域間の有機的連携を図り、県全体への幅広い波及効果を促す。

■自動車関連企業の誘致を進め、地元企業の受発注拡大、自動車関連産業への新規参入の促進を図る。

目標設定の根拠

経緯及び現況（地理的条件、既存の産業集積の状況、インフラ整備の状況）
 【地理的条件】：東北地方の行政、経済、学術、文化等各分野の中核機能を集積し、発展してきた仙台市を中心に広域行政圏の仙台地域、仙南地域、大崎地域、石巻地域に所属する一部の市町村及び栗原地域からなる。
 【産業の存在】：一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、電子部品・デバイス製造業、精密機械器具製造業、輸送用機械器具製造業など、各種製造業が集積している。
 【教育機関の存在】：東北大学をはじめ、理工系学部を有する大学として、東北工業大学、東北学院大学、石巻専修大学、東北文化学園大学などの大学が存在し、東北各県から優秀な人材が流入している。
 ・学術研究機関の存在：東北大学は、世界的に高い評価を受ける研究水準を有しており、過去においても我が国産業の技術高度化を牽引する幾多の研究成果を世に出すとともに、産学連携においても長い歴史を有しており、理想的な環境が用意されている。
 【工業団地の存在】：集積区域内には、既造成工業用地が多数存在し、現在約264ha(高度電子機械産業)・約330ha(自動車関連産業)が提供可能である。
 【道路・港湾・空港等のインフラの整備】
 ・道路：東北縦貫自動車道が県中央部を縦断し、これに国道4号が平行して通り、首都圏や東北各県との物流活動に適した地域である。県沿岸部においては、常磐自動車道、仙台東部道路、三陸縦貫自動車道等の高速道路整備が図られている。また、国道4号、国道6号、国道45号などの利用も可能であり、道路沿線での新たな拠点開発が期待できる。横断道路としては、山形自動車道、仙台南部道路が完成し、山形方面とは円滑な交流が進んでいる。
 空港：仙台空港は第二種空港として東北の拠点空港に位置付けられており、北米やヨーロッパまでの直行便も就航可能な3000m滑走路を有している。空港に併設された貨物ターミナル施設では、輸出入の保税業務が行われており、海外取引も対応可能な通関・保冷等の施設が整っている。
 港湾：東北唯一の特定重要港(仙台塩釜港(仙台区))は、年間約3700万トンの取扱貨物量があり、特にコンテナ貨物量においては平成2年のコンテナ取扱開始以来、16年連続で増加している。東北唯一の中核国際港として宮城県内のみならず、東北地方の物流拠点として世界主要各国と輸出入を行っている。

課題
 ・新たに事業を展開しようとする企業にとって、事業に必要なスペースを確保できること及びその周辺の交通インフラ等が整備されていることは、関連企業の存在や補助金等のインセンティブとともに事業立地選択の重要な要素である。企業誘致に際しては、新たな工業団地の整備も含め、必要なインフラ施設等が速やかに実現するように関係機関と協力しながら進めていく。

将来ビジョン(中長期)
 ・経済のグローバル化の進展、人口減少や高齢化社会の突入といった時代潮流に的確に対応するため、平成19年3月に今後10年間を見通した県政運営の基本的な指針である「宮城の将来ビジョン」を策定し、「富県みやぎの実現～県内総生産10兆円への挑戦～」を重要施策に掲げた。本県経済の成長のためには、県内外の需要を拡大することが重要であり、製造業(高度電子機械・自動車関連)を中心として競争力のある強い産業を創出する必要がある。県内産業の飛躍のためには、交流、物流基盤の整備が不可欠であり、国内外はもとより、アジアとの競争の優位を確保するため東北の拠点空港である仙台空港や東北唯一の特定重要港湾である仙台塩釜港(仙台区)の一層の機能強化を図るとともにその利用促進を県内外に働きかける。合わせて地域間の連携促進のため、高規格道路を始め、広域道路ネットワークの整備を促進する。また、これら地域での安全な生産活動を支えるために治水施設の整備を推進する。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
高度電子機械産業		集積区域内					
製造品出荷額	億円	高度電子機械産業の製造品出荷額	製造品出荷額増に伴う高度電子機械産業活性化	7,700	H17	9,000	H23
自動車関連産業		集積区域内					
製造品出荷額	億円	自動車関連産業の製造品出荷額	製造品出荷額増に伴う自動車関連産業活性化	7,900	H17	9,200	H23

事後評価

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	目標値		実績値	
				目標年度		年度	
高度電子機械産業		集積区域内					
製造品出荷額	億円	高度電子機械産業の製造品出荷額	製造品出荷額増に伴う高度電子機械産業活性化	9,000	H23	7,132	H22
自動車関連産業		集積区域内					
製造品出荷額	億円	自動車関連産業の製造品出荷額	製造品出荷額増に伴う自動車関連産業活性化	9,200	H23	10,222	H22

総括評価

高度電子機械産業については、平成20年秋のリーマンショックによる景気低迷や急激な円高など、製造業を取り巻く厳しい外部環境の影響等により、計画目標を達成していないものの、自動車関連産業においては、計画目標を達成した。
 また、当該事業により拠点施設から幹線道路までの整備や拠点施設間のアクセスの強化、拠点施設の周辺における治水施設の整備を実施したことにより、平成23年1月のセントラル自動車の本社・工場移転の他、平成23年10月の東京エレクトロン宮城の新工場竣工、同年12月のトヨタ自動車東北のエンジン工場着工など、自動車関連産業や高度電子機械産業の中核となる企業が立地し、その関連企業の進出も進み、高度電子機械産業及び自動車関連産業において活性化が図られた。

拠点施設

施設名	仙台北部中核工業団地	所在地	大和町、大衡村
設置主体	独立法人中小企業基盤整備機構 、宮城県土地開発公社	管理・運営主体	独立法人中小企業基盤整備機構 、宮城県土地開発公社
設置年月	S63年10月より分譲開始	拠点施設の区分	工業団地
広域的特定活動の区分	国際的又は全国的な規模の工業製品の製造	拠点施設の整備の有無	無
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等 <概要及び整備計画> ・仙台中心部から約20kmに位置する「仙台北部中核工業団地」は、仙台市を母都市として先端技術産業や学術研究機能の集積を図ることを目的とした仙台北部中核テクノポリス構想の生産拠点として開発された大規模な工業団地である。 <拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> ・一般県道大衡仙台線の整備を促進させることで仙台北部中核工業団地と現在整備を進めている大和リサーチパークとのアクセスが向上し、高度技術産業の研究開発機能及び生産機能の集積が図られる。 ・仙台北部中核工業団地と仙台塩釜港(仙台港区)を連結する仙台北部道路や仙台東部道路(仮称)仙台港ICの整備、及び東北縦貫自動車道路(仮称)大衡ICの整備は、自動車関連産業集積を図る上で重要である。 <目標と広域的特定活動・拠点施設との関係> ・拠点施設における高度電子機械産業及び自動車関連産業の生産活動が活性化され、産業集積が図られる。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容 <現況> ・仙中市街地の北方約20Kmに位置する大規模工業団地(分譲対象面積189.4ha)であり、東北縦貫自動車道大和ICにも近接しており、自動車部品製造会社やデジタルカメラ製造業などをはじめとする、物流業等42社が立地する本県産業集積の拠点である。 <将来> ・仙台北部中核工業団地及び第二仙台北部中核工業団地への企業集積を活かしつつ、新たに整備を進めている大和リサーチパークに高度技術産業の研究開発機能及び生産機能の集積を図ることで、魅力ある産業都市の形成を目指す。 ・自動車関連の大手メーカーの工場が進出していることから、本県自動車産業集積の中核的領域として、関連企業のさらなる集積が期待できる。			
広域的特定活動との関係 <拠点施設に設定した理由> ・本地域は高度技術工業集積地域開発促進法に基づく「仙台北部中核テクノポリス開発計画」の対象区域であり、本県における高度電子機械産業の集積形成を引き続き先導し、牽引する役割を担う施設である。 ・現在は、「企業立地促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」に基づく「みやぎ高度電子機械産業集積形成基本計画」「みやぎ自動車関連産業集積形成基本計画」の重点促進区域であり、本県における高度電子機械産業及び自動車関連産業の集積形成を引き続き先導し、牽引する役割を担う施設である。			
重点地区(設定する場合に記述)			

拠点施設

施設名	第二仙台北部中核工業団地	所在地	大衡村
設置主体	独立法人中小企業基盤整備機構 、宮城県土地開発公社	管理・運営主体	独立法人中小企業基盤整備機構 、宮城県土地開発公社
設置年月	H13年10月より分譲開始	拠点施設の区分	工業団地
広域的特定活動の区分	国際的又は全国的な規模の工業製品の製造	拠点施設の整備の有無	有
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<p><概要及び整備計画></p> <p>・「第二仙台北部工業団地」は、仙台北部中核テクノポリス開発計画に位置づけられ、仙台市の高度な都市機能を活用しながら先端技術産業の集積を目指している。東北縦貫自動車道ICの利用が便利な立地条件を備える。また、産学官の総合支援施設等も充実した、職住近接型の工業団地である。</p> <p>・国内最大の自動車車体等の製造・販売会社が自動車体組立工場の建設を第二仙台北部中核工業団地に決定した。</p> <p><拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性></p> <p>・一般県道大衡仙台線及び主要地方道大衡落合線の整備を促進させることで第二仙台北部中核工業団地と仙台北部中核工業団地、そして新たに整備を進めている大和リサーチパークとのアクセスを向上させるとともに、荒屋敷河川改修を実施し団地周辺の治水施設整備の強化を図ることで、高度技術産業の研究開発機能及び生産機能の集積を図る。</p> <p>・主要地方道仙台三本木線、主要地方道大和松島線及び主要地方道古川佐沼線の整備を促進し、第二仙台北部中核工業団地と大崎、登米自動車関連集積地域とのアクセスを向上し、自動車関連産業の集積を図る。</p> <p>・仙台北部中核工業団地と仙台塩釜港(仙台港区)を連結する仙台北部道路や仙台東部道路(仮称)仙台港ICの整備、及び東北縦貫自動車道路(仮称)大衡ICの整備は、自動車関連産業集積を図る上で重要である。</p> <p><目標と広域的特定活動・拠点施設との関係></p> <p>・拠点施設における高度電子機械産業及び自動車関連産業の生産活動が活性化され、産業集積が図られる。</p>			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<p><現況></p> <p>・仙台市街地の北方約24Kmに位置する大規模工業団地(分譲対象面積112.5ha)であり、隣接する仙台北部中核工業団地とともに「仙台北部ツインヒルズ」を構成する。75haを超える分譲可能面積は県内の工業団地でも最大級である。</p> <p><将来></p> <p>・仙台北部中核工業団地及び第二仙台北部中核工業団地への企業集積を活かしつつ、新たに整備を進めている大和リサーチパークに高度技術産業の研究開発機能及び生産機能の集積を図ることで、魅力ある産業都市の形成を目指す。</p>			
広域的特定活動との関係			
<p><拠点施設整備の蓋然性></p> <p>・国内大手の自動車車体等の製造・販売会社が自動車体組立工場の立地(H22開業予定)を第二仙台北部中核工業団地に決定したことを受け、周辺地域に集積する自動車関連産業の活性化が期待される。</p> <p><拠点施設に設定した理由></p> <p>・高度技術工業集積地域開発促進法に基づく「仙台北部中核テクノポリス開発計画」の対象区域であり、本県における高度電子機械産業の集積形成を引き続き先導し、牽引する役割を担う施設である。</p> <p>・「企業立地促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」に基づく「みやぎ高度電子機械産業集積形成基本計画」「みやぎ自動車関連産業集積形成基本計画」の重点促進区域であり、本県における高度電子機械産業及び自動車関連産業の集積形成を引き続き先導し、牽引する役割を担う施設である。</p>			
重点地区(設定する場合に記述)			
<p>・国内大手自動車メーカーの生産子会社の移転決定に伴う産業活性化地区</p>			

拠点施設

施設名	大和リサーチパーク	所在地	大和町
設置主体	宮城県土地開発公社	管理・運営主体	宮城県土地開発公社
設置(予定)年月	H21年4月より分譲開始	拠点施設の区分	工業団地
広域的特定活動の区分	国際的又は全国的な規模の工業製品の製造	拠点施設の整備の有無	有
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等 <概要及び整備計画> ・「大和リサーチパーク」は、仙台北部中核テクノポリス開発計画に位置づけられ、仙台市の高度な都市機能を活用しながら先端技術産業の集積を目指している。 ・世界有数の半導体製造装置製造企業が本県への進出を決定したことを受け、平成19年度から整備に着手している新規工業団地である。 <拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> ・(仮称)明通川防災調節池の整備を図り大和リサーチパークの治水施設の強化を図る。 ・一般県道大衡仙台線の整備を促進させ国道4号へのアクセス向上を図ることで第二仙台北部中核工業団地と仙台北部中核団地、そして新たに整備を進めている大和リサーチパーク間のアクセスが向上し、高度技術産業の研究開発機能及び生産機能の集積が図られる。 <目標と広域的特定活動・拠点施設との関係> ・拠点施設における高度電子機械産業の生産活動が活性化され、産業集積が図られる。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容 <現況> ・半導体製造装置製造企業が本県への進出を決定したことを受け、平成19年度から整備に着手している新規工業団地である(開発面積約53ha)。 <将来> ・仙台市の工業団地(泉パークタウン)にも近接し、本県の研究開発機能及び高度技術産業の新たな産業拠点を形成することが期待できる。 ・仙台北部中核工業団地及び第二仙台北部中核工業団地への企業集積を活かしつつ、新たに整備を進めている大和リサーチパークに高度技術産業の研究開発機能及び生産機能の集積を図ることで、魅力ある産業都市の形成を目指す。			
広域的特定活動との関係 <拠点施設整備の蓋然性> ・世界有数の半導体製造装置製造企業が本県への進出を決定。今後関連企業等の立地が期待される。 <拠点施設に設定した理由> ・高度技術工業集積地域開発促進法に基づく「仙台北部中核テクノポリス開発計画」の対象区域であり、本県における高度電子機械産業の集積形成を引き続き先導し、牽引する役割を担う施設である。 ・「企業立地促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」に基づく「みやぎ高度電子機械産業集積形成基本計画」の重点促進区域であり、本県における高度電子機械産業集積形成を引き続き先導し、牽引する役割を担う施設である。			
重点地区(設定する場合に記述) ・半導体製造装置の大手製造メーカーの工場新規建設に伴う産業活性化地区			

拠点施設

施設名	泉パークタウン	所在地	仙台市
設置主体	三菱地所(株)東北支店	管理・運営主体	三菱地所(株)東北支店
設置年月	S52年2月より分譲開始	拠点施設の区分	工業団地
広域的特定活動の区分	国際的又は全国的な規模の工業製品の製造	拠点施設の整備の有無	無
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等 <概要及び整備計画> 仙台市中心部から北方約10kmに位置する工業団地である。先端産業の集積地である泉パークタウンには、高度電子機械産業支援機能を有する研究所やコンピュータセンターなどが相次いで誕生している。工業団地の近隣には、研究所団地、アメニティ施設が立地するなど、職住遊が近接した質の高い立地環境になっている。			
<拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> ・一般県道大衡仙台線の整備を促進させることで新たに整備を進めている大和リサーチパーク、第二仙台北部中核工業団地、仙台北部中核団地間のアクセスが向上し、高度技術産業の研究開発機能及び生産機能の集積を図る。			
<目標と広域的特定活動・拠点施設との関係> ・拠点施設における高度電子機械産業及び自動車関連産業における生産活動が活性化され、産業集積が図られる。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容 <現況> ・加速度センサーをはじめとするMEMS(メムス)デバイスに関する研究開発企業や製造工場など半導体関連企業を中心として26社が立地する高度技術産業の一大集積地である。			
<将来> ・仙台北部中核工業団地及び第二仙台北部中核工業団地への企業集積を活かしつつ、新たに整備を進めている大和リサーチパークに高度技術産業の研究開発機能及び生産機能の集積と連携を図ることで、魅力ある産業都市の形成を目指す。			
広域的特定活動との関係 <拠点施設に設定した理由> ・本拠点施設は、「企業立地促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」に基づく「みやぎ高度電子機械産業集積形成基本計画」「みやぎ自動車関連産業集積形成基本計画」の重点地域、本県における高度電子機械産業及び自動車関連産業の集積形成を引き続き先導する役割を担う施設である。			
重点地区(設定する場合に記述)			

拠点施設

施設名	仙台港背後地	所在地	仙台市、多賀城市
設置主体	宮城県(共同事業者仙台市)	管理・運営主体	宮城県(共同事業者仙台市)
設置年月	H14年2月より分譲開始	拠点施設の区分	工業団地
広域的特定活動の区分	国際的又は全国的な規模の工業製品の製造	拠点施設の整備の有無	無
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<p><概要及び整備計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北の物流拠点である仙台国際貿易港に隣接している仙台港背後地(分譲対象面積6.4ha)であり、仙台都市圏の工業生産拠点、物流拠点としての機能を持つべき地区として整備を進めている。 <p>仙台国際貿易港では、北米、東南アジア、韓国、中国にダイレクトにつながる国際コンテナ定期航路が就航している他に、東京・横浜・清水港への内港フィーダ航路も就航しており、貨物を世界各国へ直接輸出入が可能である。</p> <p><拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹事業の整備により、各拠点施設から幹線道路へのアクセス強化が図られ、東北の物流拠点である仙台塩釜港(仙台港区)を活用する機会が拡大し、仙台港背後地の物流拠点としての機能を高める。 <p><目標と広域的特定活動・拠点施設との関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設における高度電子機械産業及び自動車関連産業の生産活動が活性化され、産業集積が図られる。 			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<p><現況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台港背後地に隣接する仙台国際貿易港では、北米、東南アジア、韓国、中国にダイレクトにつながる国際コンテナ定期航路が就航している他に、東京・横浜・清水港への内港フィーダ航路も就航しており、貨物を世界各国へ直接輸出入が展開されている。 ・仙台港背後地は仙台都市圏の工業生産拠点、物流拠点としての機能を持つべき地区として整備を進めている。 <p><将来></p> <p>仙台東部道路、仙台南部道路が全線開通し、内陸部を走る東北縦貫自動車道や沿岸部の三陸縦貫自動車道、常磐自動車道との連続利用が可能となり、さらに(仮称)仙台港ICの整備が図られることにより東北各都市や首都圏への移動がスムーズになり物流の所要時間も大幅に短縮され、仙台港への物流機能が大きく向上発展することが期待される。</p>			
広域的特定活動との関係			
<p><拠点施設に設定した理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北の物流の拠点である仙台国際貿易港の背後に位置し、仙台東部道路仙台港北IC経由で仙台空港へのアクセスも容易な物流環境に優れた団地である。 ・本拠点施設は、「企業立地促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」に基づく「みやぎ高度電子機械産業集積形成基本計画」「みやぎ自動車関連産業集積形成基本計画」の重点促進区域、本県における高度電子機械産業及び自動車関連産業の集積形成を引き続き先導し、牽引する役割を担う施設である。 			
重点地区(設定する場合に記述)			

拠点施設

施設名	石巻トゥモロービジネスタウン	所在地	石巻市
設置主体	独立法人中小企業基盤整備機構	管理・運営主体	独立法人中小企業基盤整備機構
設置年月	H12年3月より分譲開始	拠点施設の区分	工業団地
広域的特定活動の区分	国際的又は全国的な規模の工業製品の製造	拠点施設の整備の有無	無
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等 <概要及び整備計画> ・石巻トゥモロービジネスタウンは、新世紀に相応しい企業を誘致することで、新しい産業・経済の拠点を確立し、石巻広域圏の活性化と産業振興を図るため、宮城県、石巻市の協力のもと中小企業基盤整備機構が整備したものである。周辺施設の整備として、野球場・ラグビー場・陸上競技場・テニスコートなどを配置した総合運動公園や公園等憩いの場を整備した住宅地が整備されているほか、現在すでに石巻専修大学・石巻商業高校等の高等教育施設の完備など都市機能として必要不可欠な環境施設が整備されている。 <拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> ・国道398号の整備と基幹事業である主要地方道石巻河北線の整備を促進し、拠点施設である石巻トゥモロービジネスタウンと国道45号、三陸縦貫自動車道とのアクセスが強化され、交通アクセスも飛躍的に向上することから、地域のポテンシャルも高まるものと期待できる。 <目標と広域的特定活動・拠点施設との関係> ・拠点施設における自動車関連産業の研究生産活動が活性化され、産業の集積が図られる。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容 <現況> ・石巻トゥモロービジネスタウンは全体で24.1ha(分譲区画数は全40区画)。進出企業・研究所などの支援を行うため地域全体の創造支援センターとして「石巻ルネッサンス館」が設置されている。 <将来> ・幹線道路とのアクセスが強化され、石巻トゥモロービジネスタウン企業誘致推進協議会を中心とした企業誘致活動により、産業の高度化・雇用の拡大を促し、石巻広域圏の新しい産業・経済の確立を図る。			
広域的特定活動との関係 <拠点施設に設定した理由> ・石巻専修大学では平成19年度より機械工学科・自動車コースが設置され、最先端の機械工学・自動車工学を学ぶことができるその専門的知識と技術を習得し、プロジェクトリーダーやスペシャリストとして実力を発揮できる人材を育て、自動車関連産業の向上が見込める。			
重点地区(設定する場合に記述)			

拠点施設

施設名	寺内工業団地	所在地	丸森町
設置主体	丸森町	管理・運営主体	丸森町
設置年月	昭和57年9月	拠点施設の区分	工業団地
広域的特定活動の区分	国際的又は全国的な規模の工業製品の製造	拠点施設の整備の有無	無
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等 <概要及び整備計画> ・丸森町役場の東約2kmに位置する緑に囲まれた工場団地である。大手の自動車部品製造業2社が立地しており、丸森町の自動車産業の中心となる地域である。 <拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> ・基幹事業である一般県道半田山下線を整備することで常磐自動車道山元ICから仙台港及び仙台空港へのアクセス向上が図られ、道路ネットワークを利用した産業活動の活性化が促進される。 <目標と広域的特定活動・拠点施設との関係> ・拠点施設における自動車関連産業の生産活動が活性化され産業集積が図られる。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容 <現況及び将来> ・県内の自動車関連産業を牽引する中核的な自動車部品メーカーの向上が立地していることから地域における輸送用機械関係の出荷額も大きく県南部の自動車産業の集積拠点として期待される。 ・基幹事業の整備に伴い、仙台港及び仙台空港へのアクセス向上が図られ、船舶、航空機を活用する機会拡大が期待される。			
広域的特定活動との関係 <拠点施設に設定した理由> ・地域における輸送用機械関係の出荷額も大きく県南部の自動車産業の集積拠点として更なる発展が期待される。 ・本拠点施設は、「企業立地促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」に基づく「みやぎ自動車関連産業集積形成基本計画」の重点促進区域であり、本県における自動車関連産業の集積形成を引き続き先導し、牽引する役割を担う施設である。			
重点地区(設定する場合に記述)			

拠点施設

施設名	自動車関連産業集積大崎地域	所在地	大崎地域
設置主体	-	管理・運営主体	-
設置年月	-	拠点施設の区分	工業団地(集積地)
広域的特定活動の区分	国際的又は全国的な規模の工業製品の製造	拠点施設の整備の有無	有
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等 <概要及び整備計画> ・大崎地域は農業を基盤産業としながらも、観光・商業そして工業も含め産業のバランスがとれている地域である。さらに東北自動車道と国道4号や東北新幹線が存在し、交通アクセスの優れており、生活・環境、文化の面に恵まれた地域となっている。 ・車載電装部品(キーレスエントリーシステム等)、精密金型、省力化自動化装置等を扱う企業等が集積しており、大崎地域の自動車産業の中心となる地域である。 ・集積区域内桜ノ目工業団地において自動車関連部品工場が整備中である等、区域全般に今後、生産対応力の強化が見込まれるところである。 <拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> ・(国)347号及び(国)457号を整備することで自動車関連企業の集積地域である大崎地域から第二仙台北部中核工業団地のアクセス向上が図られ、道路ネットワークを利用した産業活動の活性化が促進される。 ・本集積地内を流れる大江川及び江合川の河川整備事業を実施して、治水安全施設整備の強化を図り、整備を予定する集積地内工業団地及び他の関連拠点施設へ連絡する国道4号線、東北縦貫自動車道へのアクセス路線の治水安全度を確保する。 <目標と広域的特定活動・拠点施設との関係> ・拠点施設における自動車関連産業の生産活動が活性化され、産業集積が図られる。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容 <現況及び将来> ・車載電装部品(キーレスエントリーシステム等)、精密金型、省力化自動化装置等を扱う企業等が集積しており、大崎地域の自動車産業の中心となる地域である。 ・県内に国内大手の自動車車両組立会社が工場の立地を第二仙台北部中核工業団地に決めたことを受けて(H19.10)、自動車関連企業が集積している大崎地域の活性化が期待される。			
広域的特定活動との関係 <拠点施設整備の蓋然性> ・第二仙台北部中核工業団地への国内大手の自動車車両組立工場の立地決定に伴い、需要増に対応すべく、当地域内の各企業の関連工場増設等(平成20年度実施企業有り)も行われるため、集積地域全体における生産対応力強化が期待される。 <拠点施設に設定した理由> ・仙台中心部の北方約24キロに位置する第二仙台北部中核工業団地に国内大手の自動車車両組立会社が工場の立地を第二仙台北部中核工業団地に決めたことを受けて(H19.10)、今後、自動車部品メーカーの進出及び既存の自動車関連企業の産業活性化などの波及効果が見込まれるため。			
重点地区(設定する場合に記述)			

拠点施設

施設名	自動車関連産業集積登米地域	所在地	登米地域
設置主体	-	管理・運営主体	-
設置年月	-	拠点施設の区分	工業団地(集積地)
広域的特定活動の区分	国際的又は全国的な規模の工業製品の製造	拠点施設の整備の有無	有
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等 <概要及び整備計画> ・登米地域は県東北部に位置し、鉄道はJR東北本線、道路網は国道45号、346号、398号等を中心として形成され、三陸縦貫自動車道、登米ICも平成20年度に供用開始された。また、築館IC～登米ICまでの28km間の県北高速幹線道路の整備が計画されており、新幹線栗駒高原駅も近くなり、県北地域はもとより、主要都市への利便性も格段に向上する見込みである。 ・ヘッドランプ、自動車関連モールド、自動車部品塗装等を扱う企業が集積しており、登米地域の自動車産業の中心となる地域である。 ・区域内に大手切削工具メーカーの新設工場建設が進められる等、自動車関連産業の推進が今後一層見込まれるところである。 <拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> ・(国)346号及び主要地方道古川佐沼線を整備することで自動車関連企業の集積地域である登米地域から第二仙台北部中核工業団地のアクセス向上が図られ、道路ネットワークを利用した産業活動の活性化が促進される。 ・本集積地内を流れる瀬峰川の河川改修事業を実施して区域内の治水安全施設整備の強化を図り、他の関連拠点施設へ連絡する国道4号・東北縦貫自動車道へのアクセス道路の治水安全度を確保する。 <目標と広域的特定活動・拠点施設との関係> ・拠点施設における自動車関連産業の生産活動が活性化され、産業集積が図られる。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容 <現況及び将来> ・ヘッドランプ、液晶バックライト面光源、自動車関連モールド、自動車部品塗装等を扱う企業が集積しており、登米地域の自動車産業の中心となる地域である。 ・国内大手の自動車車体等製造・販売会社が自動車体組立工場の建設を仙台第二北部中核工業団地へ決めたことを受け、周辺の登米地域に集積されている自動車関連産業が活性化が期待される。			
広域的特定活動との関係 <拠点施設整備の蓋然性> ・世界最大手の金属加工用切削工具メーカーの新工場建設(H22操業予定)に伴い、集積地域の関連産業活性化はもとより、県内の自動車関連産業の推進が期待される。 <拠点施設に設定した理由> ・仙台市中心部の北方約24キロに位置する第二仙台北部中核工業団地に国内大手の自動車車両組立会社が工場の立地を第二仙台北部中核工業団地へ決めたことを受けて(H19.10)、今後、自動車部品メーカーの進出及び既存の自動車関連企業の産業活性化などの波及効果が見込まれるため。			
重点地区(設定する場合に記述)			

広域的地域活性化基盤整備計画の整備方針と基本的な方針等との整合性

計画の整備方針		方針に合致する主要な事業	
<p>・高度電子機械産業と自動車関連産業の製造業を中心に強い競争力のある産業を創出するため、社会資本の基盤整備を実施し、生産活動を行う拠点施設の支援を行う。</p> <p>・拠点施設から幹線道路までの整備をはじめ、仙台空港、仙台港へのアクセス強化や拠点施設間のアクセスの強化を図るとともに拠点施設の周辺における治水施設の整備を図りながら高度電子機械産業及び自動車関連産業の集積を促進させる。</p> <p>・県内に国内大手の自動車車両組立会社が工場の立地が予定されており、今後、自動車部品メーカーの進出及び既存の自動車関連企業の産業活性化などの波及効果が見込まれるため、第二仙台北部中核工業団地と自動車産業に関連する拠点施設間のアクセス向上を図る。</p>		<p>基幹事業</p> <p>■荒屋敷川河川改修 ■(仮)明通川防災調節池 ■大江川河川整備 ■江合川河川整備 ■瀬峰川河川改修</p> <p>■(-)半田山下線(枝野) ■(-)大衡仙台線(小野) ■(主)石巻河北線(南境Ⅱ) ■(主)大衡落合線(奥田) ■(主)仙台三本木線(混内山) ■(主)仙台三本木線(落合)</p> <p>■(主)大衡落合線(落合) ■(国)346号(森) ■(国)346号(筒場埠) ■(国)346号(小里)</p> <p>■(国)347号(藤澤) ■(国)347号(飯川) ■(国)347号(竹ノ内) ■(国)457号(中名屋敷前) ■(国)457号(大瓜) ■(国)457(宮床) ■(主)大和松島線(鶴巣大平) ■(主)古川佐沼線(下田・根川橋) ■(主)古川佐沼線(佐沼・佐沼大橋) ■(国)457号(並柳・鳴瀬橋)</p> <p>関連事業(参考)</p> <p>○常磐自動車道 ○一般国道4号富谷大和拡幅 ○一般国道4号築館バイパス ○仙台北部道路 ○仙台東部道路(仮)仙台港IC ○三陸縦貫自動車道(桃生登米道路) ○三陸縦貫自動車道(登米志津川道路) ○国道113号(館矢間バイパス) ○国道398号(石巻バイパス) ○国道346号(鹿島台バイパス) ○(-)県道半田山下線(枝野・峠) ○(-)大衡仙台線(小野) ○坂本古川線(飯川) ○(主)大衡落合線(大衡) ○大衡落合線((仮)大衡IC) ○(主)石巻河北線(南境Ⅱ) ○鳴瀬川改修 ○北上川改修 ○阿武隈川改修 ○善川広域基幹河川改修 ○増田川(川内沢川工区)都市基幹河川改修 ○五間堀川広域基幹河川改修 ○高砂埠頭荷役機械(4号機)新設</p>	
基本的な方針等との整合性(※1)			
区分	整合性等の有無	左記の理由等	
① 広域的地域活性化のための基盤整備に関する基本的な方針との適合の有無	有	・具体的な民間プロジェクトと時期を合わせ、これらの諸活動が円滑に行われることを支えるために不可欠な道路・河川の基幹的な施設整備を重点的に推進する。大和リサーチパーク等。	
② 国土形成計画、社会資本整備重点計画、環境基本計画との調和の有無	有	・国土形成計画法第3条、社会資本重点計画法第3条、環境基本計画1-2-1-(2)-エ	
③ 北海道総合開発計画、沖縄振興計画との調和の有無(北海道及び沖縄のみ回答)	-	-	
④ その他の計画等との整合性の有無	有	・「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」に基づき策定された「みやぎ高度電子機械産業集積形成基本計画」及び「みやぎ自動車関連産業集積形成基本計画」	
⑤ 関係市町村への意見聴取の有無(※2)	有	・意見徴収方法:書面での意見徴収(全市町村に対し意見を徴収) ・関係市町村:仙台市、石巻市、白石市、名取市、角田市、多賀城市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、村田町、柴田町、丸森町、亘理町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村、加美町、涌谷町、美里町	
⑥ 他の都道府県への意見聴取の有無(※2)(他の都道府県との境界にかかる計画の場合に回答)	無	-	
広域地方計画協議会での取扱い(※3)	-	-	
その他			

※1 ①から⑥については、整合性等の有無を判断した資料を添付すること。

※2 意見聴取「有」の場合は、「左記の理由等」欄に、意見聴取の方法及び関係市町村名又は他の都道府県名を記載すること。「無」の場合は、その理由を記載すること。

※3 広域地方計画協議会で本計画が検討された場合は「有」とし、その内容を記載すること。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費 (a)	4,155	交付限度額(b)	1,869.75	国費率 (b/a)	0.45
-------------	-------	----------	----------	-----------	------

【基幹事業①】社会資本整備総合交付金対象事業

(単位:百万円)

事業	細項目	事業箇所名	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	環境影響評価	
				開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		対象有無	手続終了年月
河川		(仮)明通川防災調節池	1基	19	20	19	20	615	615	615	0	615	有	H19.5
道路		(一)半田山下線(枝野)	3.9km	12	21	19	21	1,600	739	739	0	739	無	—
道路		(一)大衡仙台線(小野)	1.4km	7	23	19	23	2,883	625	625	0	625	無	—
道路		(主)石巻河北線(南境Ⅱ)	0.8km	16	21	20	21	560	110	110	0	110	無	—
道路		(主)大衡落合線(奥田)	3.2km	20	22	20	22	400	400	400	0	400	無	—
道路		(主)仙台三本木線(混内山)	1.6km	9	23	21	23	2,228	350	350	0	350	無	—
基幹事業① 計								8,286	2,839	2,839	0	2,839		

【基幹事業②】地域自主戦略交付金対象事業

(単位:百万円)

事業	細項目	事業箇所名	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	環境影響評価	
				開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		対象有無	手続終了年月
河川		荒屋敷川河川改修	0.13km	20	21	20	21	32.6	32.6	32.6	0	32.6	無	—
河川		大江川河川整備	0.3km	20	21	20	21	26.5	26.5	26.5	0	26.5	無	—
河川		江合川河川整備	0.2km	20	21	20	21	54.7	54.7	54.7	0	54.7	無	—
河川		瀬峰川河川改修	1.3km	20	23	20	23	172.2	172.2	172.2	0	172.2	無	—
道路		(主)仙台三本木線(落合)	0.5km	20	21	20	21	70	70	70	0	70	無	—
道路		(主)大衡落合線(落合)	2.8km	19	22	19	22	195	195	195	0	195	無	—
道路		(国)346号(森)	2.1km	21	21	21	21	21	21	21	0	21	無	—
道路		(国)346号(筒場坪)	0.5km	20	20	20	20	31	31	31	0	31	無	—
道路		(国)346号(小里)	1.2km	20	20	20	20	32	32	32	0	32	無	—
道路		(国)347号(藤澤)	0.9km	20	21	20	21	20	20	20	0	20	無	—
道路		(国)347号(飯川)	0.3km	20	20	20	20	17	17	17	0	17	無	—
道路		(国)347号(竹ノ内)	1.1km	20	20	20	20	23	23	23	0	23	無	—
道路		(国)457号(中名屋敷前)	0.4km	20	20	20	20	21	21	21	0	21	無	—
道路		(国)457号(大瓜)	3.0km	21	21	21	21	10	10	10	0	10	無	—
道路		(国)457号(宮床)	2.0km	20	22	20	22	50	50	50	0	50	無	—
道路		(主)大和松島線(鶴巣大平)	3.0km	21	23	21	23	110	110	110	0	110	無	—
道路		(主)古川佐沼線(下田・根川橋)	0.05km	22	22	22	22	40	40	40	0	40	無	—
道路		(主)古川佐沼線(佐沼・佐沼大橋)	0.1km	21	21	21	21	60	60	60	0	60	無	—
道路		(国)457号(並柳・鳴瀬橋)	3.0km	20	22	20	22	330	330	330	0	330	無	—
基幹事業② 計								1,202	1,202	1,202	0	1,316		

基幹事業(A) = 基幹事業① + 基幹事業② 4,155

【提案事業①】社会資本整備総合交付金対象事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内			交付対象事業費	事業収益の有無
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		事業費	うち官負担分	うち民負担分		
事業活用調査															
地域自立・活性化活動推進事業															
地域自立・活性化基盤整備支援事業															
提案事業① 計										0	0	0	0	0	

【提案事業②】地域自主戦略交付金(仮称)対象事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内			交付対象事業費	事業収益の有無
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		事業費	うち官負担分	うち民負担分		
事業活用調査															
地域自立・活性化活動推進事業															
地域自立・活性化基盤整備支援事業															
提案事業② 計										0	0	0	0	0	

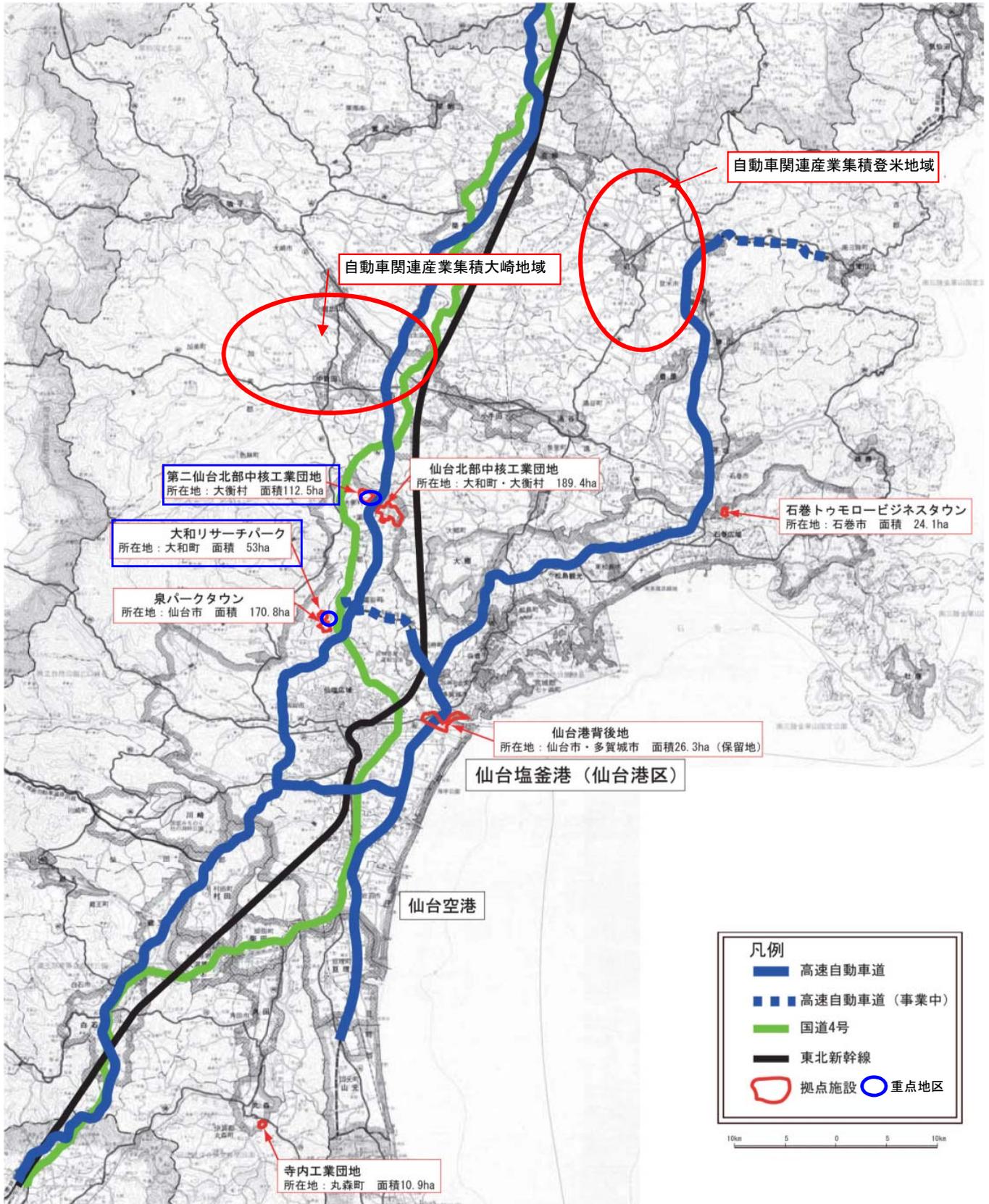
提案事業費(B) = 提案事業① + 提案事業② 0

交付対象事業費 (基幹事業費(A) + 提案事業費(B)) 4,155
 うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計 2,839
 うち、地域自主戦略交付金(仮称)対象事業費 計 1,316

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
常磐自動車道	(仮)山元IC~亘理IC	NEXCO東日本	国土交通省	11.5km				○		H22	30,566
一般国道4号富谷大和拡幅	仙台市泉区七北田~大衡村	国土交通省	国土交通	13.3km	○					H22	
一般国道4号築館バイパス	栗原市築館赤坂~築館城生	国土交通省	国土交通	7.0km	○					H20年代後半(H19一部)	
仙台北部道路	利府しらかLIC~(仮)富谷JCT	国土交通省	国土交通	8.3km	○					H20年代前半	
仙台東部道路	(仮)仙台港IC	国土交通省	国土交通	1箇所	○					H20年代前半	
三陸縦貫自動車道(桃生登米道路)	桃生津山IC~(仮)登米IC	国土交通省	国土交通	9.6km	○					H20	
三陸縦貫自動車道(登米志津川道路)	(仮)登米IC~(仮)志津川IC	国土交通省	国土交通	16.1km	○					H20年代後半(H21一部)	
一般国道113号(館矢間バイパス)	丸森町館矢間~丸森町新町	宮城県	国土交通	2.8km		○			H8	H23	10,000
一般国道398号(石巻バイパス)	石巻市新上沼~石巻市南境	宮城県	国土交通	2.7km		○			H10	H21	9,800
一般国道346号(鹿島台バイパス)	松島町東品井沼~大崎市鹿島台町出町	宮城県	国土交通	6.0km		○			H16	H28	10,100
みやぎ県北高速幹線道路(I期)	栗原市築館加倉~登米市迫町北方	宮城県	国土交通	8.8km		○			H7	H24	31,500
(一)半田山下線(枝野・峠)	角田市枝野~山元町小平	宮城県	国土交通	2.5km		○			H12	H22	7,800
(一)大衡仙合線(小野)	大和町小野	宮城県	国土交通	0.2km		○			H19	H23	100
(一)坂本古川線(飯川)	大崎市飯川	宮城県	国土交通	1.4km		○			H15	H21	2,000
(主)大衡落合線(大衡)	大衡村大衡	宮城県	国土交通	1.2km		○			H16	H21	998
(主)大衡落合線(仮)大衡IC	(仮)大衡IC 大衡村奥田	宮城県	国土交通	1箇所		○			H21	H22	2,000
(主)石巻河北線(南境II)	石巻市南境II	宮城県	国土交通	0.2km		○			H20	H21	100
鳴瀬川改修	大和町北目大崎~富谷町三	国土交通省	国土交通	3.5km	○				H20	H23	
北上川改修	石巻市吉野・双葉	国土交通省	国土交通	9.5km	○				H20		
阿武隈川改修	丸森町館矢間・金山、角田市枝野	国土交通省	国土交通	6.7km	○				H20	H23	
釜川広域基幹河川改修	大衡村野畑	宮城県	国土交通	1橋		○			H20	H22	120
増田川(川内沢川工区)都市基幹河川改修	名取市下増田	宮城県	国土交通	5.6km		○			H19	H24	7,000
五間堀川広域基幹河川改修	岩沼市矢野目	宮城県	国土交通	1.45km		○			H18	H22	1,000
高砂埠頭荷役機械(4号機)新設	仙台塩釜港仙台港区	宮城県	国土交通	1基			○		H19	H20	1,796
追川広域基幹河川改修	登米市迫町外	宮城県	国土交通	46.9km		○			S15	H50	94,340
多田川広域基幹河川改修	大崎市・加美町	宮城県	国土交通	33.7km		○			H5	H50	23,400
合計											232,618

みやぎ高度電子機械産業、みやぎ自動車関連産業集積地域(宮城県)	面積	図面のとおり	所在地	図面のとおり	重点地区	有
---------------------------------	----	--------	-----	--------	------	---



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。（承認番号 平25情使、第72-GISMAP32127号）

広域的地域活性化基盤整備計画【第5回変更】の添付書類等

交付対象事業別概要

みやぎ高度電子機械産業、みやぎ自動車関連産業集積地域(宮城県)

■高度電子機械産業の集積を図ろうとする地域

関係市町村(仙台市、白石市、名取市、多賀城市、栗原市、大崎市、村田町、柴田町、大和町、
大郷町、富谷町、大衡村、加美町、涌谷町、美里町)

■自動車関連産業の集積を図ろうとする地域

関係市町村(仙台市、石巻市、角田市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、村田町、丸森町、亘
理町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村)